

杉並農人

Suginami Nōjin

第21号



杉並の農家が輝いている。

新鮮で安心して食べられる減農薬・無農薬の野菜。

日々の生活をいろどる花々。

都市空間に広がる農の風景は人々の心を癒します。

杉並には、地元を豊かにし、街に潤いを届けている農業者がいます。

即売会や畑の直売所で、採れたての農産物を販売し、

子どもたちには、学校給食や社会科見学を通して食や農の大切さを伝えています。

区民に寄り添い、がんばる杉並の農業者を“杉並農人”と呼び、紹介します。

杉並区の農業 DATA

● 農家戸数：121戸

※令和5年4月1日現在

● 農地面積：37.42[㌥] (374,200㎡)

※令和5年4月1日現在

※農地のある区部11区で5番目の農地面積

※野菜・果樹の他、植木・切り花等の栽培も多い

● 野菜の生産量ベスト3

1位 トマト …… 84トン
2位 ダイコン …… 79トン
3位 ナス …… 74トン

● 果物の生産量ベスト3

1位 カキ …… 10トン
2位 キウイフルーツ 5トン
3位 クリ …… 4トン

東京都農業会議「区市町村別農業データブック(令和4年度)」より

時代と環境に合わせ柔軟に対応

アイデアと工夫でよりよい花を

西武新宿線下井草駅の近く、線路を挟むように蓮見園芸のハウスが立つ。年間6~7種類の花を育てており、近年は夏の暑さに強いペンタスや千日紅などの栽培に力を入れている。

園主の蓮見紳次さんは、猛暑によって植物が徒長(※1)してしまうことに苦労しているという。「株間を広くとり風通しを良くしたり、水やりの量を加減したり、さまざまな対策をしています。パンジー、ビオラに、白い防草シートを敷いて光を葉の下から反射するようにしたところ良い成果が得られたので、今後はペンタスなどにも試したいと思っています」と研究熱心だ。その一方で、「丈が伸びてしまった花も寄せ植えにすると見栄えがよく使える、適材適所です」と、花の良さを引き出す工夫もしている。

埼玉県新座市にも農地があり、杉並と合わせて年間約5万ポットを生産。主に都内の花卉市場に出荷している。「競りは多くの仲買人の目に触れるため宣伝にもなりま

す」と蓮見さん。また、ファーマーズマーケット荻窪や、声を掛ければ蓮見園芸のハウスでも購入可能という。

花農家への転向 研究を重ねて・・・

蓮見家が杉並で農業を始めたのは明治末頃。蓮見さんは5代目にあたる。昭和2年の西武新宿線(当時の西武村山線)開通に伴い、二町(※2)あった農地は線路で分断され、区画整理により狭く飛び地になった。その影響で、当初、生産緑地指定を受けられない厳しい営農局面も経験した。

周囲の宅地化が徐々に進む中、父の茂直さんは、野菜ではなく新築の家の庭や生垣用の植木を手掛けるようになる。さらに花の需要を見込んで、昭和45年頃からはパンジーや日日草などの草花をつくり始めた。日当たりの良い広い土地を求めて新座に土地を買ったのもその頃だ。それを引き継いだ紳次さんは現在週2~3回農作業のために往復約2時間かけて車で通い、ペコニアやクリサン



蓮見 紳次

昭和25年、井草生まれ。中央大学商学部を卒業後、一般企業での勤務を経て、父・茂直さんの経営する蓮見園芸をサポート。昭和59年に東京都西部鉢物研究会に入会し、本格的に花づくりに取り組み始める。現在は、杉並区内の約23.83アール(2,383㎡)の農地でハウス4棟、埼玉県新座市の約39.66アール(3,966㎡)の農地でハウス3棟を保有し、年間6~7種の花を育成・販売している。平成3年度「杉並区企業的先進農家」表彰。平成17年度東京都農業会議「企業の農業経営」顕彰。平成20年度杉並区「農業関係功労者」表彰。平成26年度東京都花卉連合会「功労者」表彰。令和5年度から農業委員を務める。

直売所/井草1-3 下井草3-41

※営業時間 不定期・随時



1. 細かな作業が得意だという息子の宏二郎さんと二人三脚の作業
2. 通常はF1種(一代交配種)から育苗しているが蓮見さんは自身の関心から採種もしている

セマムなどの栽培に取り組む。杉並では日陰でも育つ品種を中心に手掛け、二拠点それぞれの良さを生かした営農をしている。

蓮見さんは大学卒業後、企業勤務を経て父の元で花づくりに専念するようになった。「都立農芸高校のOBなどが作った鉢物研究会に入って勉強させてもらいました。また市場や産地に足を運び他の農家から出荷される花々のクオリティーを実感し、自分の目指す目標ができたことで一生懸命取り組みました」。若い頃は品評会などにも積極的に出品し、賞を得て自信に繋げていったという。昭和60年頃からは高齢になった父に代わり蓮見さんが主導する形に。

「都市の中で花を作らせてもらえるのは、ありがたいこと」

令和5年に農業委員に就任。農地パトロールなどの活動を通して地元農家が抱える問題に接し、意識が変わった

という。「食料自給率が低い日本では、もっと真剣に都市の農業について考えていかなければならない。うちの場合は建物の日陰による日照時間の問題で野菜づくりは難しいのですが、この地で花をつくらせてもらっていることを、すごくありがたいと思っています」。

花を買ってくれる皆さんへのメッセージを求めたところ、「いつも見つけてください。きれいに咲きますから」と花の気持ちを代弁するようなセリフを茶目気たっぷりに返してくれた。「花を大切に育てていると、自分自身の心も豊かになるように感じます」と語る笑顔には温かな人柄がにじみ出るようだった。現在は息子の宏二郎さんも家業に加わり、栽培や出荷時の花がら摘みなどの調整作業を手伝っている。これからは親子二代、二拠点での花づくりに取り組んでいく。

※1 茎や枝が必要以上に間延びすること
※2 1町は9917.36平米、約3,000坪を指す

TOPIC!

Agricultural Volunteers

農業ボランティア始めませんか？

農林水産省の報告によれば、『日本の農業従事者数は平成27年から令和2年までの5年間で175万7千人から136万人に減少。そのうち65歳以上が全体の70%を占める』厳しい状況です。農業者の高齢化と後継者問題により、農業の担い手不足が深刻な課題となっています。

平成27年は「杉並農人」が創刊した年。当時150戸だった杉並区の農家戸数は昨年121戸にまで減少しました。杉並区では担い手不足に悩む

農家を支援するため「農業ボランティアバンク」という制度を設け、ボランティアの力を活用しています。

農業ボランティア活動に興味のある方、制度を利用して農作業を手伝ってほしい農家さんは、都市農業係までお問い合わせください。

資料：農林水産省「農林業センサス令和2年」 ※センサスは5年ごとに実施されます。



杉並区農業ボランティアバンク

区内の農業を支援するため、ボランティアの登録・紹介をあっせんする人材バンク機能を区が果たします。農業ボランティアとしてご登録いただくには以下の方法があります。

その1

援農ボランティア

東京都農林水産振興財団が実施する「地域援農ボランティアの養成講座(東京の青空塾)」を受講・修了する。



▲青空塾 区内農家にて研修風景

その2

農業公園サポーター

杉並区成田西ふれあい農業公園で実施する「農にふれあう講座」を受講・修了する。



その3

杉並区農福連携農園ボランティア

農福連携農園すぎのこ農園でボランティア登録し、3年間活動を継続する。



▲農福連携農園ボランティア活動

※いずれも杉並区内に在住、在勤、または在学する18歳以上の方とします。

MARKET SCHEDULE 2024

杉並産の野菜を食べてみたいと思ったら！



杉並産野菜は農家の直売所のほか即売会などでご購入いただけます。ぜひ足を運んでみてください。

開催日	イベント名	場所	販売農産物	問合せ先
毎週火曜日	JA東京中央 杉並中野支店即売会	JA東京中央 杉並中野支店 (桃井2-3-4)	野菜・草花	JA東京中央杉並中野支店 TEL.03-3399-8983
毎週木曜日	JA東京中央 城西マルシェ	JA東京中央 城西支店 (成田東5-18-7)	野菜	JA東京中央城西支店 TEL.03-3392-7271
毎週木曜日	JA東京中央 高井戸マルシェ	JA東京中央 高井戸支店 (高井戸東3-22-11)	野菜	JA東京中央高井戸支店 TEL.03-3331-5181
毎月第2土曜日 (変則開催月あり)	すぎのこマルシェ	農福連携農園すぎのこ農園 (井草3-19-23)	野菜・草花 加工品・雑貨	農福連携農園すぎのこ農園 TEL.03-5303-9835
毎月第3土曜日	座の市	座・高円寺 (高円寺北2-1-2)	野菜	座・高円寺 TEL.03-3223-7500
3月28日(木)	春の即売会	杉並区役所本庁舎 青梅街道側広場・中杉通り側入り口前 (阿佐谷南1-15-1)	野菜・草花 植木	産業振興センター都市農業係 TEL.03-5347-9136
5月3日(祝・金) ~5日(祝・日)	大宮八幡わかば祭り	大宮八幡宮 (大宮2-3-1)	草花・植木	大宮八幡宮 TEL.03-3311-0105
5月25日(土)	花と緑の井草まつり	井草森公園 (井草4-12-1)	野菜・草花	東京商工会議所杉並支部 TEL.03-3220-1211
6月9日(日)	産業マルシェ	産業商工会館 (阿佐谷南3-2-19)	野菜	産業商工会館 TEL.03-3393-1501
6月8日(土)・9日(日)	グリーンマーケット	阿佐ヶ谷神明宮 (阿佐谷北1-25-5)	野菜・植木	阿佐ヶ谷神明宮 TEL.03-3330-4824
6月下旬~7月 予定	JA東京中央 いおぎマルシェ	JA東京中央 井荻支店 (今川1-17-15)	野菜・草花	JA東京中央井荻支店 TEL.03-3395-3361
6月下旬 ~7月中旬予定	JA東京中央 杉並中野生産部会即売会	杉並区役所本庁舎 中杉通り側入り口前 (阿佐谷南1-15-1)	野菜・草花	JA東京中央杉並事業所 TEL.03-5349-8792
	JA東京中央 城西生産部会即売会		野菜・草花	JA東京中央杉並事業所 TEL.03-5349-8792
	杉並区グリーンクラブ即売会		野菜・草花	産業振興センター都市農業係 TEL.03-5347-9136

※上記以外にも即売会の開催予定があります。詳細については「広報すぎなみ」紙面や杉並区公式ホームページにて情報をご確認ください。
※イベントは事情により中止や変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

常設直売所 **ファーマーズマーケット 荻窪**
新鮮な野菜・草花のほかに加工食品も扱っています。

●場 所 阿佐谷南3-13-2 TEL.03-5349-8791
●営業時間 10:00~16:30 ●定休日 月曜・年末年始(令和6年4月~)



杉並農人 第21号

2024年3月

企画：杉並区

制作：NPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー

協力：杉並区農業者（JA東京中央城西生産部会、JA東京中央城西地区青壮年部、JA東京中央杉並中野生産部会、JA東京中央杉並中野地区青壮年部、
井草園芸研究会、高井戸花卉研究会、杉並区グリーンクラブ）、JA東京中央、杉並区民の皆さん

◎お問い合わせ

杉並区産業振興センター都市農業係 〒167-0043 杉並区上荻一丁目 2-1 Daiwa 荻窪タワー2F TEL：03-5347-9136

参考：杉並区発行「ふれあい農業すぎなみ 農産物直販マップ 2023」

※杉並区 HP でも公開しています。「直販マップ」で検索してみてください。